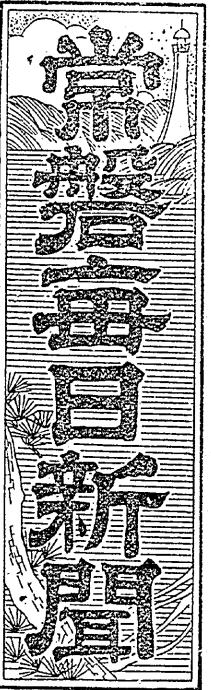


刊夕日八月二十



定額 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元
 廣告料 五號十二字 第一行五元 五拾行
 日曜祭日の翌日休刊
 発行所 常警毎日新聞社
 印刷所 常警毎日新聞印刷株式会社

一〇〇〇哩を 驅けて

清交會 登良夫生 (五)

されど住寺の理道の言には押しの一事も見事に破る〇〇は五百点程ありお禮もエロチックなるものなりしも今は賣らざる由。この外唐人お吉の生涯を繪姿として三十六様や下田條約書類及佛像等あれど、これを見ず門を出で長東寺に至る。安政元年露國使節ブーチカチン幕府方の御路聖鎮等に依つて日露條約を結ばれ翌二年日米比准交換さる。

大浦海岸此處は慶長年間大久保長安番所と定め上り下りの船舶を改めしと聞く乙女椿に投げキッスを送り下田街道に沿ふて河内温泉に至る、下田より三十町にて下田富士のピラミットを望む。

河内より北へ五六町稻生川の中流に唐人お吉が投身自殺せし所に一宮ありこゝをお吉ヶ淵と呼ぶ。正午を過ぐれば曾我兄弟拵籠の地谷津温泉も一氣に飛ばし伊豆半島に凝然と聳立す天嶮天城山を越えんとす。

車のイゾーストバイブより吐く息も漸く苦しくなりぬ。

山岳疊々たる只中に群山を睥睨し悠々祐野を左右に延し萬山錦衣をまとふて天を衝く、途に下田女學校生徒の遠足に逢ふ。我等は暫し椿の秋に車を停め山を攀

ノート

傘、油紙に文字を書くには、酢を硯で磨つて、その墨汁を用ひるとよく書ける。

づ、落葉を踏んで一歩山に入らば樵夫の渡るにや丸木橋の上蘭のあるを發見す、玉蘭、芝蘭、金蘭、芳蘭、一櫻千金とばかり各自競ふて採る。蘭はランに至り亂に終り路傍に捨つ。

この深山幽谷も余りに道路の發達交通の至便に依りさほどにも思はれず、車の走るにまかせ道も中央に至る

- 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
- 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
- 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

- 【朝】みそ汁—さつま芋
- 【書】煮肴—鮮魚
- 【晚】かつべい—豚肉

右手の谷間を見上ぐれば滾々たる水音の中に石の間五六寸の差をのびして青々たる山葵の連なるに睡はるやがて天城の天嶮の西北

麓も走り、猫見川の清流に臨む一帶の山巒をかこむ閑靜なる福ヶ島温泉に至る。吉奈、船原の兩温泉を左に捨て湯ヶ島より三里有名なる修善寺温泉に入る、温泉は桂川の川床と兩岸に噴出するを取り圍んで温泉旅館軒を並らぶ。達磨山より流るゝ桂川の中央に當る河中に湧く天然の無料公衆浴場あり弘法大師が獨鈷にて穿つたと云ふ傳説あり、これを獨鈷の湯と稱ふ。修善寺は町の中央桂川の前に見て弘法大師の創建なる古い歴史を有する大伽藍なり。

美味で！ 評判の……

イワキ サロン

電話 352

市原醫院

平町 田町

電話 二一四番

江戸前料理 倉岩

近日煮込みおでん 始めます

御祝儀 仕出し 錦水

平・電 四五四番

鼻病、腦病 化學治療薬 ビノサン

小壹圓貳拾錢、中貳圓、大五圓

石城郡特約店 村山書店

喜多流謠曲と仕舞の お稽古をお勧め致します

喜多流 謠曲 仕舞 白土會

平町 田町 六九

電話 一二七番

外科 門 專 線 光 X

上田外科醫院

平町 南町

電話 一二九番

吸入用酸素 純度 99%

モノサシ 体温計

マ ス 寒暖計

關内藥局

電話 四〇番

寫真材料一式販賣致シマス

中村齒科醫院

平町 鍛冶町 七

孫寅 考案の 殿中揚

一般御家庭御惣菜用おでん。鍋焼の材料に最適な美味食品。

一本三錢是非御試食を乞ふ。……

平町 一丁目

お惣菜用 さつま揚 吉原揚 孫寅

電話 一四一番

負債整理組合

郡内の農村に設立

法規の運用及び解釋を

町村長會で研究

石城町村長會では本年八月一日より實施された農村負債整理組合法に依る組合組織に關する取扱法規運用及び解釋等に關し縣に對して之れが指導係員の派遣方を申請中であつたが来る

平商生の健康相談

親しく校醫を招いて……

平商では今八日が生徒の健康相談日に當るので午前九時より同校準備衛生室に於いて市原校醫を招き生徒一同の健康相談に應じた

第二校の

校門移動

學務土木

共に協議

平町學務委員會は明日午前九時より町役場會議室に於いて開會九年度の學級編成第二校の奉安庫建設に伴ふ校門移動及び校庭擴張に就いて種々協議するが土木委員會も同日午前十時より開き前記校門移動及び校庭擴張並に町道認定の件を附議すると



巻の話題

絶景かな絶景哉

秋田市川反松浦富太郎翁さんはその夜秋田劇場の歌舞伎を見物に出かけ二階特等席に納まつて一杯が二杯きこしめす程に酔ふほどに芝居に熱中「音羽屋」はよかつたが力餘つて廣げてゐた重箱を階下に落し同じく見物中の同町今野ひさ(七三)婆あさんの頭に裂傷骨膜に達する傷を負はせた。

電話連接

申請受理

昨日より
平局に於ては十二月七日より一週間電話共同線及連接加入の申請を受付ることとなつた架設費は共同線五拾圓連接は四拾圓尙登記料として共同線は拾圓連接は四圓を要する電話共同線及連接は何れも相手方及本電話

買上米價格

決定發表さる

本年度農林省にて買入る磐城米の價格は左の如く決定發表された
一等三十二錢、二等二十四錢、三等十六錢

田人信用解散

田人信用組合は前組合長蛭田重平氏死亡後有名無實となつてゐたが此程解散を決議し縣より認可されたので目下整理中である

平町人事

△死 亡
△前 一 柏木哲氏妻
△前 一 柏木哲氏妻
△前 一 柏木哲氏妻
△前 一 柏木哲氏妻

働きのがいや

仙臺市原町字若竹勘次郎娘片平まさ(三三)は酌婦稼業をしてゐるうち商賣がいやになり夜になると街の暗がりに出ては人の來るのを見シクシク泣き出し金を落したとか盗まれたとか出鱈目を言つて哀れつぽく泣き落し金をせしめては舌をペロリそれが福島までもして行つたため遂に尻尾をつかまれ取調べられてゐるが不貞くめれの彼女は「で尻尾を出してやらうか」などと毒つき係り官を啞然たらしめてゐる。

あぶない新商賣

これも働きのがいやさに新商賣身投げ業を閉業した新潟縣中蒲原郡新開村の米岡辰吉(三三)「五圓がな」と止りません、ナムアミ「……」と危ふく? 身投げの開業中通りかゝつたのが同村の大森誠(假各)「クン」とつとつと……あぶない、五圓はお安い命だ、だが死なねばならぬワケは? な、なる程、段々話を聞いて見ると君は死んだ方が仕合せのやうだ、さ止めないから遠慮なく」と突つばねられたので「おつそろしく不人

情な野郎だ

と下駄でなぐりつけた爲折角の新商賣もオヂヤン。
金丹錢也の結婚
『世を擧げて非常時ぢや、萬事つ々ましく質素儉約に冠婚葬祭の如きも見得つてはいかん』といふ所から奈良縣葛城郡馬計村の松本與平君と森下かなサンはこの程金丹錢也で結婚披露の宴を開いた、新郎はコル天服、新婦は人絹の絞付姿で契りの盃事が終ると參會者一堂「起立ッ」君ヶ代を合唱苦のむすまでと式を結んだ人生の一大不作

用料は一ヶ年共同線は五拾五圓連接は三拾四圓である尙詳細は平局窓口又は電話七〇〇番に御問合せられたら

妻くに儀豫テ病氣ノ處藥石効無ク八日午前五時死去致シ候間此段謹告仕候
追テ九日午後一時長橋町性源寺ニ於テ御申問ヲ拜受シ二時告別式執行可仕候
十二月八日

親戚 柏木 木本 木本 木本
友人 鈴木 木辰 沼龍
總代 蓮 龍 輔 郎 馨 諄 哲

看護婦急派の求めに應じます

平町南町 平看護婦會 電話三〇七番

種々修繕 関内藥局

愛兒の晴れ着を 買ひぬ身が無念

迫る年の瀬の生活苦!!!

腑甲斐なさに切腹

内郷村大字宮字竹之内機械職工竹田儀平(三七)は昨七日午前八時頃自宅の一間で刃渡七寸五分の短刀を我が腹に突き立て割腹自殺を圖つたが死にきれず苦悶中を家人に発見され應急手當の結果一命は取止めるらしいが原因は年の瀬も迫つた昨今愛兒の晴着一枚も買ふ事が出来ない貧困な生活を悲感した爲めである

料理組合 役員改選

来る十五日に

平料理屋組合では組合長鈴木寅吉氏辭任以來會計渡邊傳三郎氏外五名の幹事合議に依り事務一切を處理して居たが来る十五日午後六時より谷口に於いて總會を開き後任者を改選すると

買収が發覺

村議の違反處分

赤井村大字赤井字御代田一〇二農夫吹喜久一(三三)が去る七月一日施行された同村々會議員選舉に際し候補者芳賀政雄氏を當選せしむる爲め六月二十八日同村有権者鈴木太一郎を金五十錢で買収しやうとした選舉違反事件は本日平區裁判所で罰金三十圓に略式命令を以て處分された

平窪校の思ひ付き

學校長中根正世氏の速記術に關する講演會を催し全校生に聽講せしめた

罰金不納 留置場入

双葉郡廣野村大字上北迫宇上田郷三六日雇業賀澤庄次郎(五〇)は去る三月平區裁判所に於て狩獵法違反に依り罰金二十圓に處されたが内金三圓を納入したのみで残りは納入せず又石城郡磐崎村大字藤原按摩業廣瀬忠一郎(六八)は昨年八月按摩術取

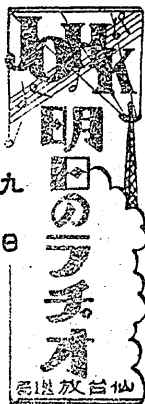
自轉車の 二人乗り

科料が多い

平署に於ける十一月中の即決科料件数は八十六件で一番多いのは無燈火の三十八件、夫れに自轉車の二人乗り等である

トング妊娠

湯本町齊藤させ(三七)さん假名は昨小名濱町生れ目下大日本炭



天候 今夜は北の風雨模様明日は北の風天候 氣良くなる見込

今晚の部

- ▼後六、〇〇 子供の時間
- 一 中山梶子イイヤレ鬼二
- 平井英子イ獨木船中山普
- 平作曲伴奏「青い鳥」管絃樂團
- ▼後六、二五 英語講座(五)
- の二) 鈴木富太郎
- ▼後七、三〇 講演 一篇農

青年を紹介す 日本青年團常務理事 福島繁三 二我等の体験大石俊雄外六名

▼後八、一〇 長唄 隈取安宅松芳村伊十郎外大勢

▼後五、三五 受験講座 松村定次郎

柏木夫人

愛し子を愛して 遂に永眠す

七日磐城共濟病院産婦人科に妊娠八、九ヶ月の身として婦人科部長五十嵐雄二氏の診察を求めたが診察の結果悪質の筋腫と判明本日大手術を行ひ重量二貫目の筋腫を摘出した

作業中に トコ衝突

下小川村字前原一七佐藤音清(八八)君は昨七日午前八時頃目下改修工事の同村佳遊地内の積提工事に從事中後方より走り來たつたトコに衝突全治三週間の打撲傷を負ひ目下平町桑原整骨院に入院加療中である

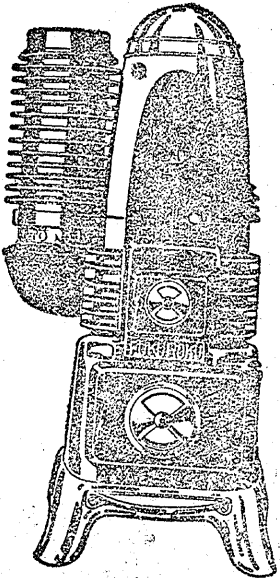
自轉車九臺 窃盜が發覺

平署に於ける十一月四日間全校生に對し第二學期成績考査を行ふと

磐女成績考査

磐女では来る十五日より四日間全校生に對し第二學期成績考査を行ふと

完全燃焼の爲め 煙筒掃除の要無き 本日の フクロク、ストーブ



發賣元 阿部石炭商店 電話三七番

鈴木醫院 醫學士 鈴木正男

耳鼻咽喉科専門 鈴木醫院 醫學士 鈴木正男

銘劍秘又録

【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴演
山本英春畫

第九回 徳川家に崇る村正

暴虐なる若大将

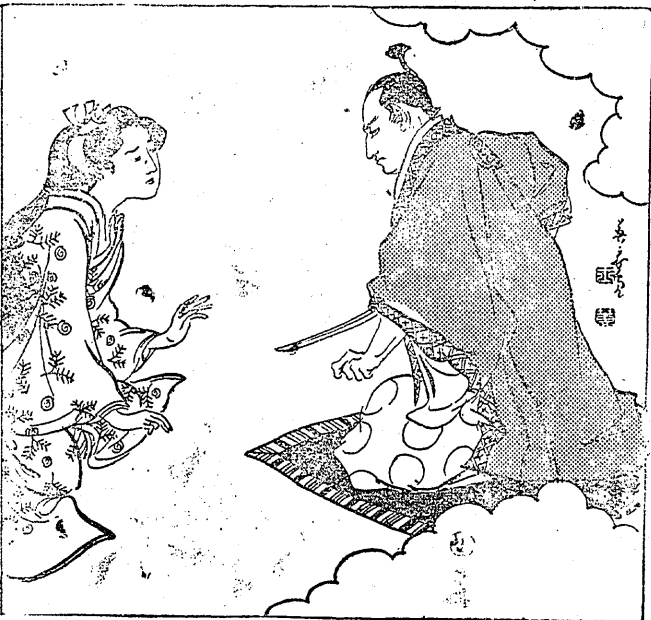
スルト或時の事岡崎次郎三郎殿久し振りで御臺所の許へ御越しになりまして、御自分の無沙汰をば言譯なさると御臺所が早速ながら次郎三郎殿に對して御臺所「伺ひまするが此程は甲州よりお目を掛けられる婦人がお側へ伺候いたしましたに依つて、妾の事は疾に忘れ給ひ其ゆる御越しも遠ざかりますとの事お美ましよう存じまする」

と高貴方の事なり、殊には織田信長の姫でありまするから端したくない裏店の女房みたやうな怪氣沙汰もございせんが、自然と恨みを含んで仰られました、スルト疝癪の強い岡崎次郎三郎殿でございますから

三「左様な事をば何者が御身の耳に入れたるか、左もなくば知れやう筈がない」
三郎殿の尋ねに從ひ御臺所「何より證據は小侍從より承はりましたございませ、之に控へて居ります腰元小侍從が何事も様子を存じて居りまする」
と明さまに御告げなさると岡崎次郎三郎殿烈火の如くに憤どぼり

三「ヤア小侍從とやら其方は當家に奉公を致しながら一家の和合いたす事を計らず、能く内密の事を探つて告口致したな、御臺所の恨みは其方の口より出る事以來

前に於て成敗は斯様いたして呉れる」
と小侍從の口到手を當て力に任してペリ／＼と引裂給ふと云ふ、鬼に等しき御所業御臺所も打驚かれ顔色蒼ざめブル／＼慄へてお控へに成る
三「見苦しい早々死體を取片附けよ、斯様な穢らはしき處に長居は無用」
と散々の御不興で自分の居間へお歸りに相成りました、御臺所も最早取做すことも出来ず呆氣に取られる尚又其他の者より容易なら



を戒める爲に斯く致して呉れ」
んと御酒氣もあつたでせうが岡崎三郎殿又を引拔さまして小侍從の胸元に突當て、アツと云ふ間もなく拳も通れと突立てながら尙も足下に踏まへ
三「其方に答はない、其方の口に科がある御臺所の目の

ざる訴へがあつたと云ふは外でもございせん、築山御前と甲州の勝頼と秘密を通じ築山のお計らひを以て岡崎次郎三郎を總大将として現在御父家康公と信長をば殺し、駿遠の地をば岡崎次郎三郎の領地に賜はると云ふ事を武田勝頼と約定いとして書面を取交し、尙又

築山殿は御離縁を申込み其上にて甲州の武田の領地山村の城主武田兵部丞と云ふ者、甲州第一の美男で年は餘程違つて居るが去年妻に別れて寡夫で居る、是へ武田勝頼媒妁をして築山殿を縁附けやうと云ふ約束まで出来て居るやうな事、築山殿も御親子の間柄とは云ひながら流石に羞づかしく現には仰せ出しがなかつたが中に築山殿の御髪を揚げるお京と云ふ女が始終お側に在つて、此お京と云ふのへ打明けてお話をされた
築「妾も仔細あつて近々に甲州の山村と云ふ處へ嫁入りせんければならん、其時は其方も岡崎を離れて妾と一緒に甲州の山の中へ參つては何うぢや」
お話があつたからお京も不思議に思ひ、名にし負ふ遠參兩國の主たる徳川三河守家康公の御臺たる御方が何う云ふ譯で他に御再縁をなさるか不思議な事と思ひますから、彼のお京が始終築山御前のお側に於て總ての事に目を着けて居りますると、果せるかな一通の書面が手に入りまして、此書面といふは其頃甲州の總大將武田伊奈四郎勝頼から築山殿へ送りました書面でございます、お京が人目を忍んで密に之を讀んで見ると織田信長と徳川家康をば逆致して、遠參兩國及び尾州の地までも岡崎次郎三郎信康へ參らすといふ武田の陰謀にくみ致したる書面に對し先方からの返事らしく

花柳病科 外科 専門 院 醫科 外村木

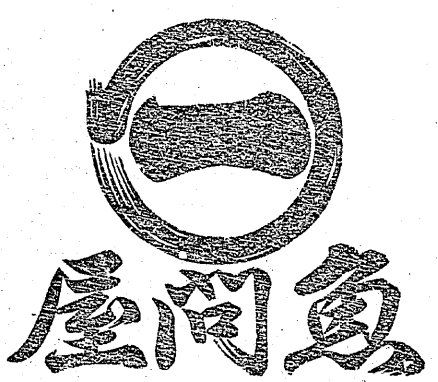
際橋目丁五町平 九三話電

咽喉專門
入院 應需
平町四丁目七〇番地
山内醫院
醫學士 山内亨
電話六九一

10日 體溫計の検査日です
検査新機 設置 お宅の體溫計は?
◎正確な體溫計を御使用下さい
◎毎月十日の検査日御利用下さい
度量衡 指定販賣人 西村屋藥局
計量器
電話 三番

耳鼻咽喉科専門
氣管食道科
平南町 (電話一七〇番)
大和田醫院
平町二丁目 電話六八五番

ほしやなぎ
いかに
鱈魚の鹽から
鱈魚の子



最優最良 日本生命平代理店 志賀盛榮
(三一二電)目丁四平